

京都府内 令和6年中

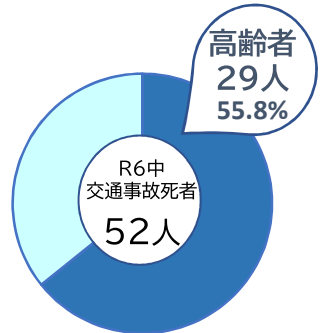
高齢者の交通死亡事故

令和6年中、京都府内では**52人**の方が交通事故で亡くなられています。
そのうち、**29人**が**65歳以上**の高齢者で、全体の**約6割**を占めています。

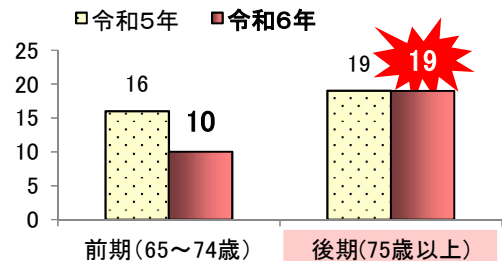
● 交通事故発生状況

※ ()は前年対比

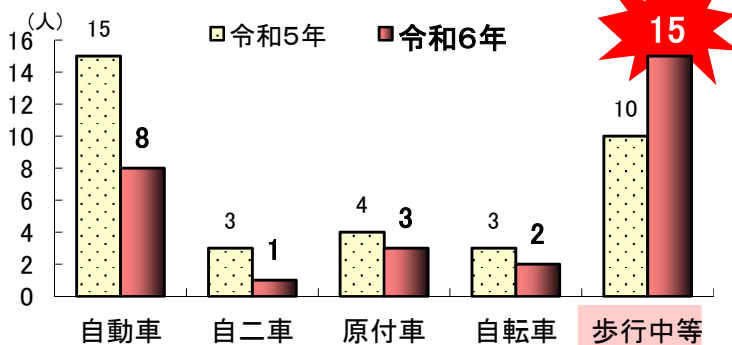
	発生件数【件】	負傷者数【人】	死者【人】
交通事故全体	3,745(-322)	4,233(-435)	52(-7)
うち高齢者	1,370(-123)	713(-35)	29(-6)



65歳以上の交通事故死者(29人)のうち、75歳以上の方が半数以上(19人)を占めています。



● 状態別死者数



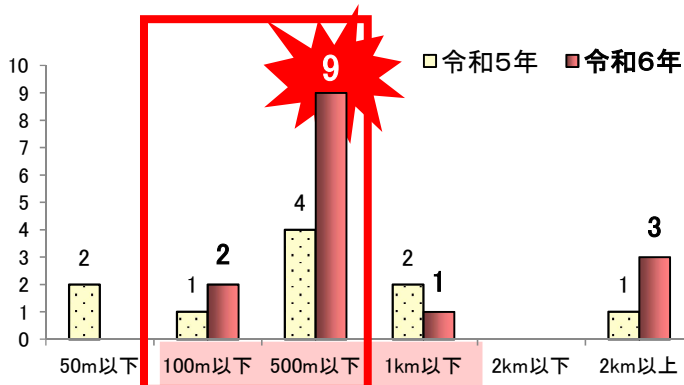
歩行中が**最多**となっています。

「歩行中」の中でも、「道路横断中」の交通事故が**4割**を占めています。

少し遠回りになっても、信号や横断歩道を利用し、車などが来ていないか、まわりの安全をよく確かめてから横断しましょう。



※ 歩行中死者の自宅からの距離

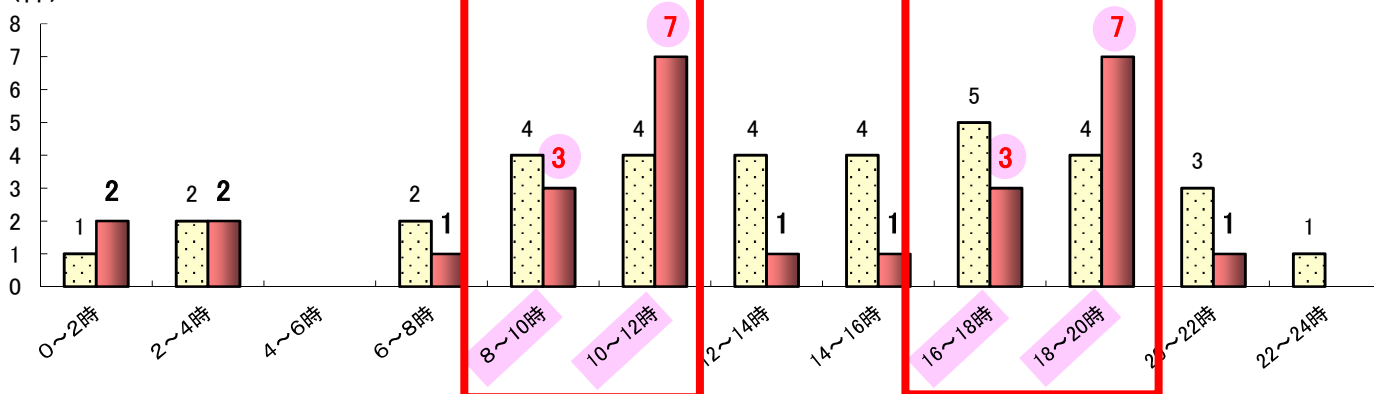


歩行者の多くは、自宅から**500m以内**で交通事故に遭われています。



● 時間帯別発生件数

(件) □令和5年 ■令和6年



午前中、日没前後に交通事故が多発しています。

歩行中の交通事故死者15人のうち、14人は反射材用品の着用がありませんでした。

夕方から夜間の外出では、「早めのライト点灯」で歩行者等の早期発見に努め、「反射材用品の活用」で、運転者から目立つ工夫をしましょう。

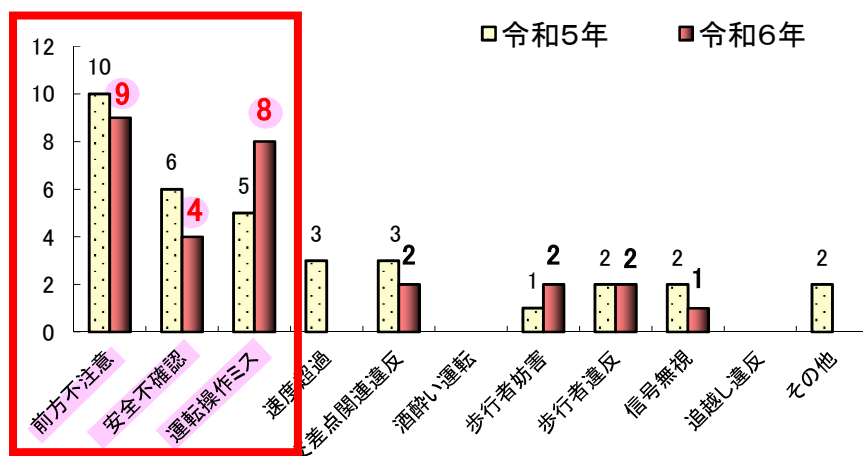


● 主な事故原因別(第1当事者)

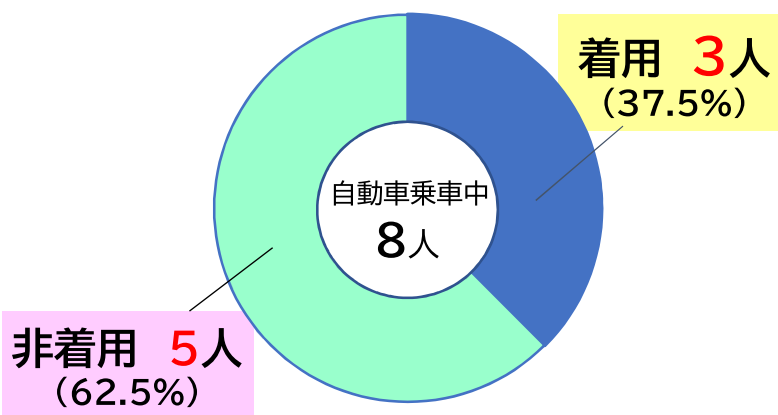
車両の運転では、
前方不注意
安全不確認
運転操作ミス

などの原因によるものが目立ちます。

特に、交差点やその付近では、状況に応じて徐行や停止をして、確実に安全を確かめましょう。



● シートベルト着用有無別



シートベルト非着用者(5人)のうち、3人は着用していれば生存の可能性がありました。

後部座席を含む全ての座席でシートベルトを着用しましょう!



京都府警察